

06 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院



病院の概要

- **医師数（研修医除く）** 136名（うち指導医数 51名）
- **病床数** 550
- **研修医数** 1年目 17名 2年目 18名
- **昨年度マッチング受検者数** 137名
- **研修医の主な出身大学** 慶応義塾大学、日本大学、帝京大学、東京大学、北海道大学、札幌医科大学、東京医科大学、順天堂大学、東北大学、新潟大学、埼玉医科大学、群馬大学、筑波大学、東京慈恵医科大学、京都大学、京都府立医科大学、東北医科薬科大学、岩手医科大学、三重大学、熊本大学、宮崎大学、近畿大学、他
- **診療科** 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、内視鏡内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、内視鏡外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、緩和ケア内科、病理診断科、救急科、総合診療科、歯科口腔外科、血液・膠原病内科、腎臓内科
- **1日平均外来患者数** 1188名
- **1日平均入院患者数** 428.3名
- **主な認定施設** 日本内科学会認定医制度教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会教育認定施設、日本乳癌学会認定施設、日本老年医学会認定施設、日本緩和医療学会認定研修施設



研修プログラムの特色

基本コース：基本コースでは内科、外科、小児科、産婦人科、救急科、精神科、地域、麻酔科が必修です。救急外来では、年間5,000件を超える救急車の受け入れがあり、そのファーストタッチは研修医が担当します。将来の診療科に進んでも怖くない救急の知識と態度が身につきます。また、年間通して抄読会や症例検討会が行われ、国立病院学会、埼玉県医学会その他の学会発表を通して、学会発表の指導も受けられます。

小児科コース：産婦人科コース：小児科または産婦人科希望者を対象としています。4月から主科で研修を開始することで、その後、将来をイメージしながら他科での研修ができるようになっていきます。2年目には大学病院などの専門病院やクリニックで研修し、視野を広げられる

ようになっています。すでに小児科や産婦人科と決めている方にはお勧めです。
 外科コース：将来外科を専門として志望している方を対象とします。他のコースと同様に研修医に必要なプライマリーケアを身につけるのもちろん、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科の各分野を必修でローテーションし、外科の基本手技、知識を習得します。スムーズに外科専門研修に移行でき、専門医取得に大変有利なプログラムです。

プログラム例 基本コース（募集定員 10名）	
	1～4週 5～8週 9～12週 13～16週 17～20週 21～24週 25～28週 29～32週 33～36週 37～40週 41～44週 45～48週 49～52週
1年目	内科系（32週） 麻酔科（6週） 外科（4週） 救急科（6週） 小児科（4週）
2年目	産婦人科（4週） 精神科（4週） 地域医療（4週） 選択科目（40週）

○基本コース：募集定員 10名 ○小児科コース：募集定員 2名 ○産婦人科コース：募集定員 2名
 ○外科コース：募集定員 2名 ○内科コース：募集定員 2名

研修医の処遇

- 給与** 1年次 年間見込 490～579万円（宿日直・諸手当含）
2年次 年間見込 530～654万円（宿日直・諸手当含）
- 諸手当** 通勤手当
- 保険** 第二共済組合 厚生年金保険 雇用保険 労災保険 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険（病院において加入なし）
- 勤務時間** 8時30分～17時15分
- 当直** あり（4～5回/月）
- 休暇** 有給休暇/年23日（リフレッシュ休暇3日含）
- 宿舍** あり（単身用）住宅補助：5万円・引越補助：職員寮規程に基づく
- その他** 健康診断年2回、インフルエンザ予防接種無料 身分：初期臨床研修医（期間職員）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・慶應義塾大学病院
- ・日本大学板橋病院
- ・大泉病院
- ・勝海外科
- ・天野医院
- ・秩父市立病院
- ・大塚産婦人科小児科医院
- ・朝霞中央クリニック、他

当院の魅力

地域に根ざした中核病院で一緒に忙しく働きましょう！

埼玉病院は、地域医療支援病院、地域悪性腫瘍拠点病院、循環器病機関医療施設、肝疾患診療地区拠点病院、地域周産期母子医療センターで、地域の中核病院として機能しています。

2018年には200床の新館が完成し550床の病院となりました。また、2021年に救命救急センターを開設しました。埼玉病院は、常に新しいことに挑戦し続ける病院です。研修医の先生方には埼玉病院の一員として現場第一主義で研修していただきます。

地域を支えるやりがいを感じられる病院です。是非、一度見学にいらしてください。



研修責任者からメッセージ



上牧 勇
副院長
小児・周産期母子センター部長
プログラム責任者

夜間、休日の救急外来では、2年目研修医を中心として、3～4名の研修医が救急外来の初期対応を担当しています。これは研修の核となる部分で、common disease から重症疾患まで上級医の指導を受け初期対応を学ぶこととなります。2年間やりきった卒業生たちは、自信をもって専門研修に進んでいます。また、当院は職員家族主義のもと病院全体で研修医教育にあたっています。コミニカルな方からは是非多くを学んでください。

症例検討会、抄読会、学会発表などの機会も豊富で、プレゼンテーションの指導も行っています。熱心な指導とともに研修生活をスタートさせてみませんか。やる気のある皆さんをお待ちしております。

先輩研修医からメッセージ



渡邊 夏美（基本コース）
研修医1年目（2023年度入職）

私が埼玉病院を研修先を選んだ理由のひとつは、患者さんと職員の方全員を家族のように大切に「患者さん・職員家族主義」の理念に惹かれたからです。見学や実習に来た際には、廊下ですれ違うたびに笑顔で挨拶をしてくださる、人や雰囲気のおかげで日々感じていました。また当院の基本コースの魅力のひとつは選択期間が全40週あり、自分の興味のある科や進路に合わせた研修プログラムにすることが出来る点もあります。さらに入職後は1週間のオリエンテーションが用意されているので、先輩方や看護師の方、事務の方、他職種の方々に手厚くご指導いただきながら、安心して充実した研修を送ることができます。ぜひ病院見学や実習で当院の雰囲気を感じてみてください！



石川 侑花（小児科コース）
研修医1年目（2023年度入職）

私が埼玉病院を研修先を選んだのは、見学の際に多職種からなる病院職員が互いに挨拶を交わし、日々コミュニケーションを取られている中で構築された、当院の明るい雰囲気が印象的だったからです。この印象は入職してからも変わらず、気になることがあった際に、誰にでも相談できる優しく温かい当院の環境が大変魅力的に感じています。小児科コースでは、オリエンテーションを終えた後、小児科から研修がスタートします。ミニレクチャーや救急シミュレーションなど、小児科の先生方から直々に教えてもらえる機会が用意されています。また、座学のみに留まらず、指導医の先生の監督下、問診から処置まで幅広い経験を積むことができ、初期研修で育むべき力を付けられること、間違いなしです。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしております。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

・病院見学の申込みは、随時受付けております。詳しくはHPをご覧ください。当院X(旧Twitter)ではイベント情報・試験情報などをいち早くお届けしております。X(旧Twitter)：https://twitter.com/NHO_SaitamaHosp

連絡先 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

- 医療支援室 研修医事務担当
- 住所** 〒351-0102 埼玉県和光市諏訪 2-1
- T E L** 048-462-1101（代表）
- F A X** 048-464-1138
- E-mail** 209-isikensyukengaku@mail.hosp.go.jp
- U R L** https://saitama.hosp.go.jp/
- アクセス** 東武東上線 成増駅より 東武バス・西武バスともに7分

